

事務事業名		遠山郷観光戦略プロジェクト事業			会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		観光課			H28係等名		遠山郷観光振興係			H27係等名		遠山郷観光振興係
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
		施策	13	新しい力による新しい産業づくり								
目的	対象(誰・何を)	①交流人口 ②指定管理施設数			対象指標	指標名及び単位			27年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	遠山郷地域(上村・南信濃)の一体化及び活性化				遠山郷交流人口			225000			
	向上させたい上位施策の成果指標	新規就業者数(603)、新規立地拡張企業件数(2)、UIターン者数(49)、開発プログラム(201)、新規就農者数(24)				遠山郷観光関係指定管理施設数			21			
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	定性目標	・南信濃、上村の住民が一堂に会し、遠山郷観光戦略計画を協議し、「遠山郷らしさ」を活かした一体的な観光振興を進める。										
事業概要	<p>合併協定の中でうたわれ、新市建設計画に搭載された「南アルプス遠山郷活性化プロジェクト」を具体的に実現させる手だてとして、飯田市の観光拠点である「遠山郷観光」を一体的、総合的に推進することにより、情報発信力を強化し、地域経済を活性化させるため、23年度に「遠山郷観光戦略計画」策定を行った。これを踏まえ、今後数年次にわたり、計画的に事業を推進する。</p> <p>【計画事業の主要な柱】事業①～⑯の中で今年度分を列記。</p> <p>⑤広域観光看板製作、情報発信の強化:統一的な観光看板の整備。</p> <p>⑦上村、南信濃観光イベント事業(遠山郷観光協会):上村、南信濃の観光イベントを観光協会補助金に統合。</p> <p>⑩遠山郷観光協会体制強化事業(人的配置):遠山郷観光協会のマネジメント力を高めるため体制を強化する。</p> <p>⑬下栗の里への屋外トイレの新設:増加する集落散策を目的とした滞在型観光客のためのトイレを設置。</p> <p>⑭2次交通体制づくり事業(過疎集落緊急対策事業)</p> <p>⑮登山案内所運営モデル事業(過疎集落緊急対策事業) ⑯遠山郷観光戦略計画のさらなる検討、振り返り</p>											
27年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	三遠南信自動車道の全面開通を見据え、南信州の玄関口として両地区が一体となった遠山郷の観光振興に取り組み、地域振興につなげる。 (1) 遠山郷観光戦略計画の拡充、具体的計画、道の駅の機能検討 (2) 南アルプスユネスコエコパーク、ジオパークを活かした山岳観光への取り組み (3) 遠山郷観光協会体制強化				(1) 遠山郷観光戦略計画の拡充、具体的計画の策定 道の駅マーケティング・リサーチ (2) サポーター・ガイドの養成 (3) 観光協会体制強化				(1) 一式 (2) 2回 (3) 3人体制			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		11,985	15,928	15,248	26,400	[27特定財源] (国) 地域住民生活等緊急支援のための交付金(10/10) (県) 市町村合併特例交付金 (そ) 過疎地域自立促進基金繰入金						
国庫支出金				1,521								
県支出金			2,400	2,400	12,800							
起債												
その他		11,000	11,932	10,700	13,600							
一般財源		985	1,596	627		[28特定財源] (県) 市町村合併特例交付金 (そ) 過疎地域自立促進基金繰入金						
人件費計(千円)②		8,940		7,152								
正規職員所要時間		2,500		2,000								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		20,925	15,928	22,400	26,400							
事業内容・目標達成状況の振り返り	上村、南信濃両地区が共同した事業の実施により、遠山郷の一体的な観光振興の重要性を共有することができた。和歌山大学との共同研究によるマーケティング調査を実施し、遠山郷の現状について認識するとともに地域全体で共有した。											
改革改善の考え方	①問題点	全市において上村・南信濃両地区は少子高齢化が最も加速している中で、どのように地域の活力を維持し、地域振興を図っていくかが大きな課題となっている。また、一過性のブームに頼らない観光地域づくりを進めるためにも、ターゲット層は誰か、どのようにアプローチしていくか、雇用につなげる更なる戦略が必要である。										
	②改革提案	上村、南信濃両地区を遠山郷エリアとして一体感を創出するため、両地区が共同して観光を軸とした農・林・商・工業に取り組み、地域振興に繋げていく。遠山郷らしい空間や景観づくり、観光戦略を検討する。										